

平成30年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

《報告事項》

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も14年目を迎えました。

今年の夏は記録的な暑さとなり、猛暑の中、熱中症で搬送さえる方や亡くなる方が相次ぎましたが、そのような中、今年も、例年同様、1社で複数の報告書を提出された組合員もあり、本活動に対する取り組みへの関心の高さと熱意が感じられ、また、特別会員、賛助会員からもご協力いただきました。

なお、昨年に続き、今年も、組合員1社により、1名の発見事例がありました。この発見事例の詳細につきましては、「別紙」のとおりご報告させていただきます。

今回の発見事例で特記的なことは、発見者が、営業等で駐車場のあるホールを訪問した営業マンではなく、事務担当者だったということです。また、発見場所については、この事務担当者が自家用車に乗ってプライベートで訪れたショッピングセンター内にある駐車場だったという点です。

本活動において、組合員に所属する従業者が、ホールへの営業活動中に限らず、ふだんの生活の中でも注意を働かせたことで、発見につながりました。

【総括】

- 日中、ホールを訪問する時は、あえて遠い場所に車両を停めて駐車場内を確認している。
- 今年は猛暑だったので、巡回活動も大変だった。一般のお客様からも「お疲れさま」とよく声をかけられ、この活動もかなり認知されてきたように感じる。
- 巡回する人も水筒を持参するなど、熱中症対策が必要である。
- エンジンのかかっている車両やファミリーカータイプ(ミニバン)を重点的に確認した。
- 毎年この活動を行っているので、訪問先のホールや警備員の方に認識していただいている。そのため、スモーク貼りの車両やワンボックスタイプの車両などを調べていても怪しまれずに順調に活動できた。
- 車両にフィルムが貼ってあると見えにくいので、上から見るようにした。
- 立体駐車場等の暗い場所では車内の状態が把握しづらいので、LEDライトを持ち歩いて巡回した。
- 年間を通して巡回したい。
- 事前にホールに声掛けしたうえで行ったことで、スムーズに活動できた。
- 警備員のいないホールは、スタッフと一緒に手分けして巡回を行った。
- この活動についてのホールの認知度が向上しており、今まで以上にホールから感謝された。

【特記事項】

- エンジンをかけたまま、長時間、車両の中で休んでいる大人をよく見かけた。
- ペット等を車内に残して遊ばされているのを発見したので、ホールに連絡した。
- 室内灯、ハザードランプ、ヘッドライトの消し忘れなどがあり、ホールスタッフに報告した。
- 貴重品等の放置が多くみられ、車上荒らしにも注意が必要だと感じた。
- ライトで照らしても車両の中が見づらかった。
- サンシェードなどをつけた車両が多く、点検しづらかった。

別紙

平成30年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動における 車内放置事例の発見について

この度、本活動中に幼児の車内放置事例の発見がありましたので、以下のとおりご報告させていただきます。

【発見事例】

発見日時：平成30年8月（お盆）の頃、午後

発見場所：茨城県内のショッピングセンターにある屋根付き駐車場

発見状況及び
発見後の対応等：回胴遊商の組合員である(株)ユムラ商事（関東・甲信越支部）の従業員が、自家用車に乗ってプライベートで訪れた茨城県内のショッピングセンターにある屋根付き駐車場に駐車した際、となりに停車していた車の後部座席のチャイルドシートに乳幼児を発見したので、すぐに駐車場の警備員に連絡し、事故を未然に防ぐことができたとのことである。

以上